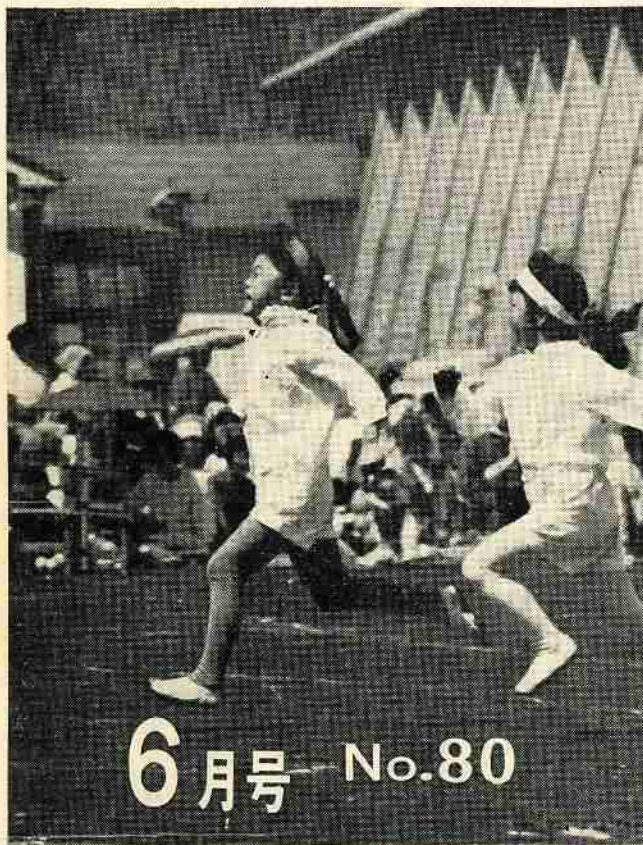


広報のほろへっ

たのしい運動会



6月号 No.80

— ☆ —

6月に入って各小中学校の最大の行事

である運動会がやってきました。この

日を最高なものにしようと今から準備、練習にけんめいです。各小学校

の運動会の日程をお知らせします。

— ☆ —

登別小 6月12日

富岸小 6月19日

幌別小 6月5日

幌別西小 6月19日

札内小 6月12日

鉾山小 6月下旬予定

登別小 6月19日

温泉小 6月19日

カルルス小 6月下旬予定

町史編さんシリーズ

古 老 回 顧 座 談 会 その11

登 別 温 泉 会 場

愛情でいっぱい
明るい社会

登別町愛情銀行開設

六月一日から町社会福祉協議会で、「愛情銀行」を開設することになりました。

愛情銀行とは

奉仕活動を大衆化、組織化する目的で、一般になじみやすい銀行形式をとり入れ、地域の福祉事業を行うための門戸を開くことになりました。

そこで、日常生活の余力を社会のために精神的、肉体的、経済的に欠けている人々に愛の手をさし、善意を形にあらわし奉仕していただくため、これを受入「預

託」し、愛情を求める方に役立てるためこれを払出するものです。

このような人達が、明るい人間関係をつくり、お互いに助け合い、少いでも、しあわせな社会づくりの原動力として、愛情を最高度に役立てようとするのが愛情銀行です。

● 預託の方法

あなたの愛情は、いかなる小さなことでも早速役立させていたいただきたいと存じます。申込書は、役場住民課、各支所で備付けでありますのでご利用下さい。

日野久橋

カルルス道路を開さく

秋吉 昔の馬は「道産馬」ですからとても脚が速かったです。

の浜さん(二代目の奥さん)が室蘭へ買出しに行く途中、私の家へ立寄って休んでいました。志賀 昔の道路は今の道路と違って、近道を通って行きましたから

司会 登別温泉から室蘭までの三十三軒を一日で往復したのですから速いものですね。

堅田 登別の学校の前を通過して、子供の頃、室蘭で運動会があった。豊岡さんが短距離、私が長距離の選手でした。早朝三時頃、弁当を背負って歩いて室蘭まで行きました。マラソンなど競技に参加して、終ってから登別より温泉まで歩いて帰ったものです。歩くという事は、石になりませ

日野(昇) 私は子供の頃、幌別に居りましたが、滝本

志賀 日野さんのお父さんもやはり「室蘭」から「カルルス」まで歩いていました。戻はし、よりをして途中疲れるものだから「鶯別」で私の家の向いの黒沢さんでお茶を飲み、一息入れてまた歩いて行きました。

● 払出の方法

金品の預託は、あなた(預託者)の指定があれば希望によって配分します。指定がなければ運営委員会にはかり公正に配分します。

● 口座の種類

- (1) サービス口座
- (2) 技術預託(理髪、ラジオ、テレビ修理、大工、演芸、レクリエーションの指導、医療、育児の相談など)
- (3) 労力預託(洗たく、遊園地、道路施設の清掃など)
- (4) 金品口座
- (5) 金銭預託(香典、祝儀の返し、バザー益金、寄附金、賛助金など)
- (6) 物品預託(衣類、書籍、ラジオ、レコード、食料品など)

(3) 特別口座

① 団体加入預託(奉仕団体、学生、青年、婦人会、など)

● 受付場所

愛情銀行本店 役場住民課内
支店 各支所内
何卒銀行開設の趣意をご理解され、ささやかな善意であっても皆さまのご協力をお待ちしております。

選挙人名簿調整の一斉調査を行ないます

一斉調査は、公職選挙法の一部改正により、永久選挙人名簿をつくるため必要な調査(選挙資格調

現在のオロフレ道路にしてもあの方の苦勞が漸く私達の時代になって実現しました。

司会 日野さんのお父さんが「カルルス」に入られたのは何年頃ですか。

日野(昇) 明治四十四年頃です。

石川 日野さんとはとにかく熱心に啓発されましたから。私もその熱意にはだされず踏破しました。

志賀 そんなことで滝本さんは勿論「登別温泉」の功勞者ですが、全体的に見たら日野さんのお父さんはこの辺一帯の功勞者ですね。

司会 日野さんのお父さんが「カルルス」で、お父さん、お仕事を

査)及び住民の実態を把握するための基礎的資料となるもので六月二十日現在で一斉に行ないます。調査票の内容

調査は、六月二十日より二十九日の十日間で、調査員が戸別に訪問します。

調査票には、「世帯全員」の氏名、性別、世帯主との続柄、生年月日、職業、町に住みはじめた年月日、現住所に住みはじめた年月日、前任所、本籍など洩れなく記入し、押印の上調査員にお渡し下さい。

尚、留守にする場合はこの期間に必ず調査票を隣家に依頼して、この調査に洩れないようご協力願います。

日野(昇) 温泉の開発に全力を傾注していました。

石川 忘れもしないが那須という支庁長がいました。那須正雄と云って、今の副知事のお父さんです。その方に現地を見て貰おうと思っ

分水嶺を通過して、カルルスの日野さんの家で休みましたが、その時支庁長は大そう立腹して、「もうこんな所へ来るのは「免だ」と云うのです。一体どうした訳か、その理由を尋ねると、途中、笹を刈った切口が尖っている、それで足を傷めたからだそう

です。(つづく)



行楽期の交通事故防止

正しい運転 正しい歩行

これから本格的な行楽シーズンです。どこの家庭でも、観光地や温泉への旅行、ドライブなどをしますが、交通事故は、ほんのちよつとしたゆだんと、先を急ぐあまりの無理から悲しみにおわらせています。

人も 車も

ゆずりあいの気持で

- 運転されるかたへ
ドライブのとき
- 1、からだのコンディションを整えておくこと
 - 2、車の点検、(ハンドル、ブレーキを整備)
 - 3、わき見や、話しながらの運転は禁物
- 慣れない道路では、道路状況と道路標識に気をつける。

交差点や横断歩道
車が交差点や横断歩道にさしかかったときは、かならず徐行してまわりの車や人にじゅうぶん注意し、人が横断歩道を渡ろうとしているときには、一時停止をして歩く人のじやまにならないよう常に

- ⑤、道路の良いところでもスピードのだしすぎは危険です。いつも安全に走りましょう。
- ⑥、山や田舎道では、道路の端がくずれやすいものです。すれ違いや追い越しのときは、じゅうぶん注意
- 7、乗車定員は、かたく守る。
- ⑧、他の車や、汽車などの競争はやめ、いつも、きめられたスピードを守る
- 9、お酒は、絶対に飲まないこと

教員人事異動

(先月号に追加分)

- 転入
温泉小 能代谷節子(幌西小)
転出
幌西小 阿部美智子(札幌市曙浜小)
鶯別中 米内山八野(奈井江中)
三好 直彦(余市西中)

ゆずりあいの精神で運転する。○歩行者へ

歩行者にとつては、道路を横断するときが最も危険です。

道路を渡るときは必ず横断歩道を通り、車の進行にじゅうぶん注意し、運転者にわかるようハッキリ手で合図をして渡る。

横断歩道のない場所では、必ず左右の安全を確かめてからまっすぐ渡りましょう。

歩行者優先といつても、交差点や横断歩道をゆっくり歩いていたり、道路で立ち止まって話をしたのでは、運転手はたいへん迷惑します。いつも交通のきまりを守って正しく歩くようにしましょう。

身体障害者の方は 自動車税が免除

身体障害者で自動車(軽自動車)をお持ちの方は昭和四十一年度より自動車税が免除になります。

申請用紙は胆振支庁税務課に備付しています。申請しないと免除になりませんので、必ず申請して下さい。

課税免除の範囲

- 1、下肢又は体幹不自由者で、身体障害者手帳の交付を受けていること
 - 2、自動車運転免許証の交付を受けていること
 - 3、自動車(自家用車)を所有し専ら自から運転していること
- 以上のすべてに該当する場合です。
- 尚、その他詳細については役場住民課にお聞き下さい。

苦々(くく) 注意(い)を かわす

町政懇談会

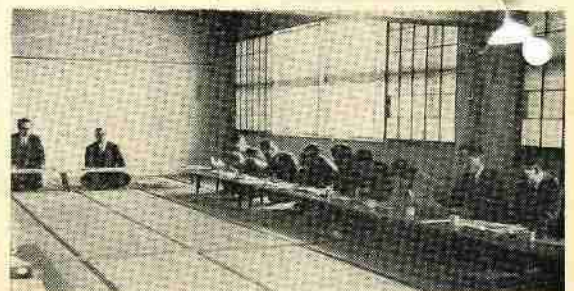
去る五月九日午後一時より、中央公民館和室において、町内官公署各関係機関と町理事者、町長、助役、教育長、消防長、各部課長)など三十人が集まり開かれました。

この日の議案は、日常町民が直結する重要な問題ばかりで、熱心な意見の交換がされ、午後四時三十分意義ある懇談会が終了しました。

- 議題は次のとおりです
- 1、昭和四十一年度登別町主要事業概要について
 - 2、町内の電話事情について
 - 3、防犯体制について
 - 4、交通安全対策について
 - 5、国有林の解放について

登別交通安全協会が発足

従来登別町には、室蘭交通安全協会に加入した会員が、幌別と登別の二支部に分れて運動の推進に活躍して来ましたが、町の人口はすでに四万人を越え、自動車の台数も三月末で二千六百台となり、又国道三十六号線での交通事故が



- 現在登別交通安全協会の会員を募集中です。登別町に居住している次の方は入会出来ますので、事務局(役場企画調査課)又は、副会長へお申し出下さい。
- 一、自動車運輸業者及び陸上小運搬業者
二、自家用自動車及び原動機付自転車所有者
三、交通用品の製造販売修理業者
四、本会の趣旨に賛同し、業務に協力する者
- | | |
|-----|--------|
| 副会長 | 岩井 忠 |
| 理事 | 長谷川 繁一 |
| 理事 | 中岩 昌生 |
| 理事 | 大岩 昌生 |
| 監事 | 四十六 名 |

